



PRESS RELEASE  
報道関係 各位

2022年3月2日  
公益財団法人日本パラスポーツ協会  
日本パラリンピック委員会

北京2022パラリンピック冬季競技大会における  
ロシアとベラルーシの参加にかかわる IPC 決定について  
－ 日本パラリンピック委員会(JPC)会長コメント －

国際パラリンピック委員会(IPC)は本日開催の理事会において、ロシアとベラルーシの選手は、国を代表しない中立な選手として北京2022パラリンピック冬季競技大会に参加するということを決定し、公表いたしました。

日本パラリンピック委員会(JPC)は、IPC が現在の規程において法的な制約があり、IPC 理事会が現状実現可能な最大の措置により両国に制裁を科したと理解しておりますが、今回の決定を全面的に支持している訳ではありません。また、人命、人権、平和が重要であるということについても議論の余地はないと考えます。しかしながら、参加する日本選手団としては IPC の決定を尊重せざるを得ず、本決定に従うことといたしました。

2021年12月2日に国連総会で決議したオリンピック休戦は、「オリンピック競技大会開幕の7日前からパラリンピック競技大会終了7日後の3月20日まで休戦を守る」ことを、ロシアを含む国連加盟国193カ国の採決により決定したもので、大変重要なものです。これを踏みにじる今回のロシアのウクライナ侵略は極めて重大な問題で、とても容認できるものではありません。JPCはロシアによる残虐な殺戮、人権侵害を強く非難し、直ちに、停戦とロシア軍の撤退がなされること、そしてウクライナの平和が回復されることを願います。

公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会  
会長 森 和 之

<本件に関するお問合せ先>  
(公財)日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会  
企画広報部 黒田・藤沢  
E-mail:jpcjpsa-media@parasports.or.jp